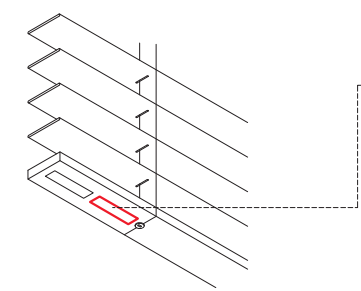


※メンテナンスシール位置

ボトムレール裏側の、メーカーシールの隣に貼ってあります。



■生産日:	2021年12月9日	NN
■品名:	WB 905	
■サイズ:	1120 × 1160	
■受注No:	10003	Made in Japan

生産日 :生産された年月日が記載されています
品 名 :品番が記載されています
サイズ :【製品巾】×【製品高】が記載されています
受注No:弊社の管理番号です

横型ブラインド取付け及び取扱説明書

この度は、弊社ブラインドをお買い上げいただきありがとうございます。正しい取付けと定期的な清掃をしていただく事により、ブラインドは長期間美しさを保ち、又スムーズな操作性を維持することができます。ご使用になる前に、この説明書をよくお読み頂き、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。必ずお客様にお渡しください。

使用している表示と絵記号の意味
表記上の約束

	警告	製品の取扱いを誤った場合、死亡または重症を負うことが想定される危害の程度を示しています。
	注意	製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。
	禁止	製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」とする図記号です。

ご使用になる前に必ずお読みください

警告

- 操作コードは、付属の安全クリップで束ね、短くし、お子様の手の届かないようにしてください。また、身体に巻きついたり、引っかかるようなことはしないでください。事故の恐れがあります。
- 子供は思わぬ行動を取ります。大人の常識は通用しません。お子様をコードで遊ばせないように注意してください。
- 小さいお子様がいてご家庭では、ブラインドのコード近くにソファやベッドを置かないでください。ソファやベッドに上がれば手が届き、事故の恐れがあります。
- 犬や猫等を操作コードで遊ばせないでください。操作コードが巻きつくなどして、思わぬ事故を招く恐れがあります。
- 火の近くでご使用にならないでください。スラット(羽)・紐部分が溶ける・燃えるなどの恐れがあります。

※安全クリップをご使用になっても、事故が完全に回避されるわけではありません。コードの危険性を十分に認識されたうえでご使用をお願いします。



注意

- 製品の昇降動作線上に物を置かないで下さい。製品や置いたものが破損する恐れがあります。
- 製品にぶら下がったり、無理に引っ張ったりしないでください。製品が破損したり、落下によりけがをする恐れがあります。
- 製品を雨等の水にさらさないで下さい。製品の塗装及び機械部分に不具合が生じる恐れがあります。
- 風の強い時には製品を降ろしたまま窓を開けないで下さい。製品の破損や、思わぬ事故につながる恐れがあります。

取付けになる前に必ずお読みください

警告

- 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付ていない場合は落下の原因になります。
- 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外の取付けにはご使用にならないでください。木部以外への取付けは、下地素材に適したネジ等をご用意ください。
- 本説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。
- 本体取付け時には、ブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

注意

- 本製品は屋内用です。屋外へは取付けしないでください。
- 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けしないでください。(対象製品を除く)
- 製品は水平に取付けてください。
- 加湿器は本製品から離してご使用ください。製品近くで加湿器を使用しますと水道水のミネラル成分が白い粉となり、製品に付着して動作不良等の原因になる場合があります。

ウッドブラインドのお手入れ方法

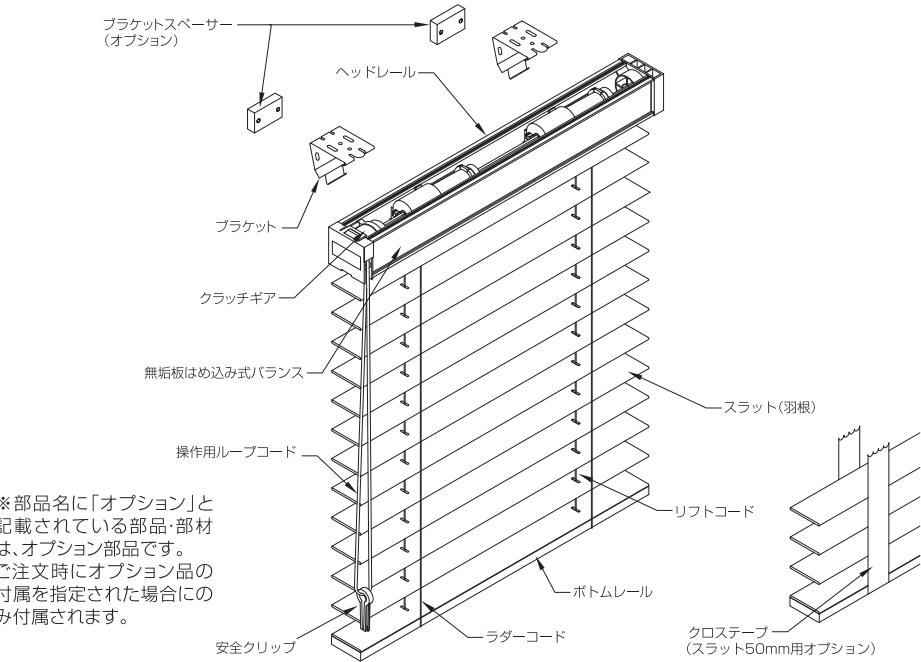
使用環境に応じ、木製家具と同様に定期的に清掃してください。はたき、布、羽毛ダスター、電気掃除機(付属ブラシを使用)あるいは固く絞った布で軽く拭いてください。

ブラインド使用上のご注意

- 室内の家具や調度品を日焼けから防ぐには、スラットの室内側先端を上に向けてご使用ください。
- 木製ブラインドに水がつきますと、塗装のはがれ等、不具合が起こる可能性があります。雨等でブラインドの羽根が濡れてしまった場合は、速やかに乾いた布で拭き取ってください。
- 本製品は天然木を使用しているため、経時変化等の変形、色変化が生じることがあります。

1

展開図-構造と部品名



2

付属品一覧 (梱包内に下記の部品が入っています。ご確認ください。)

標準付属品

部品名	ブラケット	ブラケット用ネジ	安全クリップ
		 (4×20)	
製品巾(mm)			
280～910	2個	4本	1個
915～1520	3個	6本	
1525～2130	4個	8本	
2135～2400	5個	10本	

オプション付属品

- ブラケットスペーサー 12又は20及びネジ (オプション)
- ブラケットスペーサー 12又は20及びネジ(オプション) ブラケットと同数付属されます。

1. 確認

(1) 製品の変形、破損、ゆるみ、付属部品の不足等が無いことを確認してください。異常がある場合は取付けができませんのでお買い上げいただいた販売店、もしくは弊社までご連絡ください。

(2) 取付け下地の確認

製品に付属しているネジは木部用です。木部以外への取付けには使用しないで下さい。
下地材に十分な厚みがあることを確認してください。取付け部が水平になっていることを確認してください。
金属面・コンクリート・石膏ボード・煉瓦・タイル等、取付け面によって、特別の取付け作業が必要になることがあります。各素材メーカー等にご確認のうえ取付けてください。

2. ブラケットの取付け

(1) サイズの確認

ブラインドの取付け位置の寸法を測り、ブラインドが取付け箇所きちんと納まることを確認してください。
本書の最後に記載の納まり図を参考にしてください。

(2) 取付け位置の決定

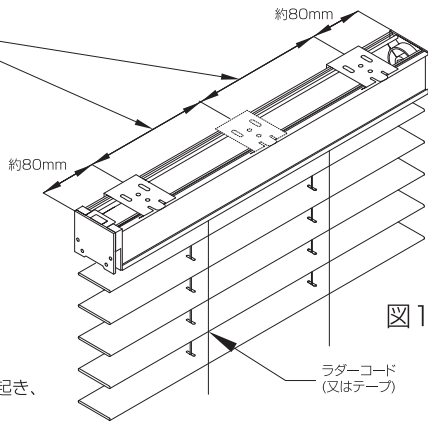
図1のように、ブラケットがブラインド本体の両端から80mm程度(巾500mm以下のブラインドはこの限りでない)のところにるようにブラケット取付け位置の印を取付け面につけてください。
前項記述の通り、ブラケットの必要個数はブラインドの巾によって変わりますので、各ブラケット間がなるべく均等になるようにブラケットの位置を決めてください。又この時、各ブラケットが一直線上に並ぶように位置出しをしてください。

注意

ブラケットはラダーコード(又はテープ)に干渉しない位置で、なるべく等間隔に取付けてください。ラダーコード(又はテープ)にブラケットが干渉すると故障の原因になります。

警告

ブラケットは必要数量を必ず使用するようになしてください。
取付け数量が不足していると、ブラインドの落下等の事故が起き、思わぬ怪我をする恐れがあります。



3) ブラケットの固定

天井付けの場合は図2のように、正面付けの場合は図3のように取付け面にビスでブラケットを固定します。
ブラケットスペーサーを使用する場合は、図4のようにブラケットスペーサーとブラケットと一緒に固定します。

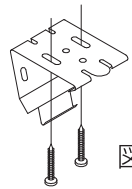


図2

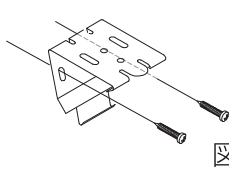


図3

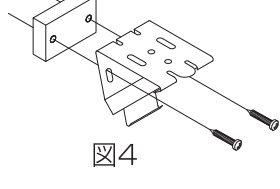


図4

※ブラケットスペーサーに付属のネジをご使用ください。

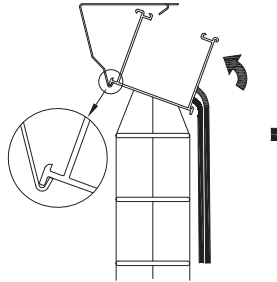
警告

各ブラケットは、それぞれが直線上の位置に固定する必要があります。
ブラケットが直線上に並んでいないと、ブラインド本体を正しく固定できず、ブラインドの落下等の事故が起き、思わぬ怪我をする恐れがあります。

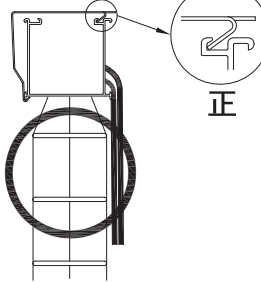
3. 本体の取付け

付属のブラケットはステンレスバネ材の弾性(曲がりと戻る力)を利用したワンタッチ式ブラケットです。余分な取付けスペースを必要としない(考慮しなくて済む)ブラケットです。取扱説明書に沿った取付けをしてください。

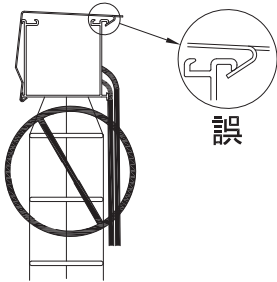
①ヘッドレールをブラケットの爪に掛け、ヘッドレール前面を押し込みます。



②下図のようにヘッドレールがブラケットに固定されていることを確認してください。



下図は間違った固定のされ方の例です。



ポイント: 前面上部を押す際は、瞬間的に拳骨でたたく事も試してください。

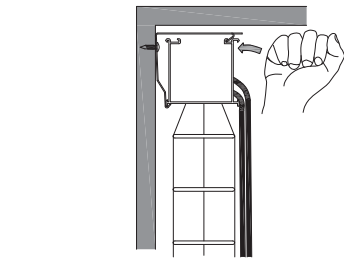
4. 本体の取外し

ヘッドレールの前面上端部を見るとブラケットの端部が2～3mm出ています。ここがブラケットの付いている位置です。

ブラケットがついている位置のヘッドレール前面上部を押すとブラケットからヘッドレールが外れます。

■取付け・取外しがしにくい場合

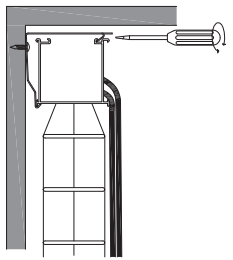
①取付け・取外しでヘッドレールを押すのが固い場合、瞬間的に拳骨で叩くことも試してみてください。



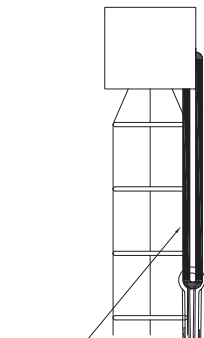
警告

ブラインド本体をブラケットに固定する際に、全てのブラケットに対して、ヘッドレールが正しく固定されていることを確認してください。正しく固定されていない箇所があると、ブラインドの落下等の事故が起き、思わぬ怪我をする恐れがあります。

②①の方法で外れない時は下図のようにブラケットとヘッドレールの隙間にマイナスドライバーを差し込み、左右に回して(ねじって)ください。



ブラインドの昇降及びスラット(羽根)の角度調節は1本のループコードで行ないます。ブラインドを上げる場合はブラインド本体に対して手前側から出ているコードを引き、下げる場合は奥側から出ているコードを引きます。(下図参照)昇降動作の前に必ずスラットの角度が変わってから昇降動作に移りますので、角度を変えたい場合は任意の角度になったところでループコードの操作を止めてください。



ブラインドが
上昇

ブラインドが下降

注意

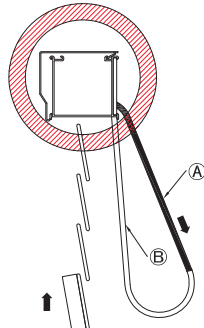
ブラインドの昇降動作線上に物を置かないでください。ブラインドや置いたものが破損する恐れがあります。
ブラインドが上がりきった状態で、誤った方向に強く操作コードを引いた場合、**ブラインドの落下、損傷を防ぐために安全装置が働き、カタカタと音がしますが**、これは故障ではありません。操作を止め、反対側の操作コードを引いてください。

ご注意: ブラインドの羽根(スラット)を下端まで下げきった状態から上にたたむ(上昇させる)時の操作について。

ブラインドの羽根を下端まで下げた状態から上昇させる時は、図1のように上側から出ている操作コード④を引いてください。図2のように、下側の操作コード⑤を引いてもブラインドは上昇しますが、羽根の角度が逆向きになってしまいます。また、ブラインドがたたみ上がった時に、図3のように斜めになり、不揃いになる事があります。羽根が下端まで下がったブラインドを上昇操作する時は、正しい方のコード④を操作頂けますようお願いいたします。万が一⑤を引き逆方向で操作した場合は、操作コード④を引き続け、下降端まで達した後上昇を始めたら、羽根の角度が正しい向きになります。

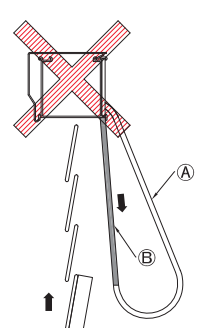
尚、上げ下げする時の角度が隣のブラインドと違っている場合も、昇降時のコードを引く方向がそれぞれで違っていることが原因です。
上記の要領で修正してください。

図1



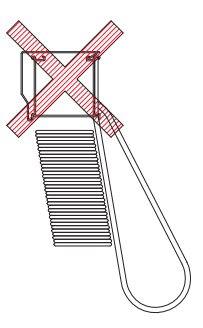
上側の操作コード④を引き上昇させる(正)。
(上昇時、羽根の角度は手前側が下を向きます)

図2



下側の操作コード⑤を引き上昇させる(誤)。
(上昇時、羽根の角度は手前側が上を向きます)

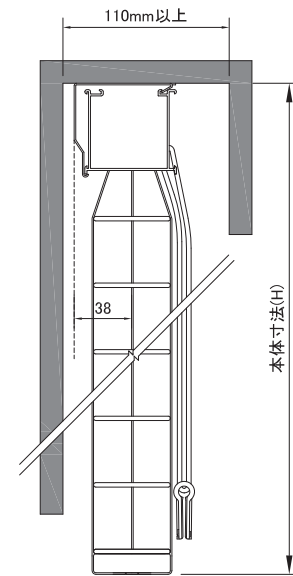
図3



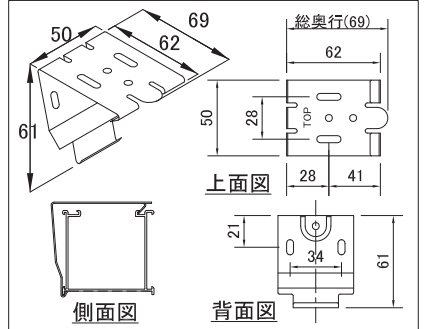
ただんだ羽根の状態が斜め。

納まり図

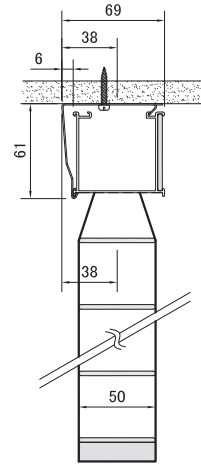
ボックス内に
取付ける
場合の
必要寸法



ブラケット寸法図



天井付けの場合の納まり



正面付けの場合の納まり

